

今年度から学生の授業への出席状況を保証人が閲覧できるようにになりました。どのくらいの方が実際に利用されるのでしょうか。

最近では、子どもが塾などに行くと親に入退室の記録が送信されたりしますので、子どもの行動に関する情報を親が入手することに親子ともさほ

ど抵抗はなくなっているのかもしれない。だとしてもやはり、大学生はまだ管理監督されて当然、という考えからは少し離れていたいと思っ  
ています。物事が順調でない時でも、人に運転を代わられたりせず  
に自分の人生を自分なりに運転して  
いってよいから

です。卒業に向けての単位取得の道筋は人それぞれです。出席状況をご覧になる際にはこの前提を大事に  
していただけたらと願っています。

色々な困難があっても対処しながらたくましく生きていくには、自分の行動が他者に決められたり強制されたりせず自分自身

## 学生相談室

だより **105**

光 奥野  
カウンセラー

のコントロール下にある、という感覚がとても大切だそうです。大学には、そのような感覚でやっていける機会が沢山あります。授業も、自分なりに取り組み、その成果がどうあれ自分で受け取ることができます。お子さんが四年で卒業できるペースでやっていくなら、休まず出席することを

義務付けたりするよりは、お子さんのコントロールにまかせるのが素敵なサポートになると思います。

出席を確認してみると、ほとんど大学に通えていない様子が見えてくるかもしれません。事前に出席状況を知っていることでお説教ではない会話ができるなら、学生も自分のこ

とを語りやすくなります。その人がしたい運転をもつとしていられるために、周りはどういけばよいのでしょうか。単位取得が順調でない場合ご家族で話し合うことも出てくると思います。学生相談室ではご家族の話し合いもサポートしてきますのでどうぞご利用ください。